FUKUSHI ASAKUCHI

福祉あさくち

あたたかく
さささえあって
くらせる
ちいきをめざして

社協だより vol.56

11

2020

社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

未来の豊かなつながりアクション

地域のつどい再開へ一歩ずつ前へ

社会福祉協議会では、生活課題のある高齢者世帯や子育て世帯などに対して、いきいきサロンや子育てサロンに代表される集いの場の提供や、見守りのための友愛訪問活動などに取り組んできました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人と人が互いに距離をとり、接触の機会を減らすこと（ソーシャルディスタンス）が求められる「新しい生活様式」の実践が必要となってきています。

それに伴い、地域においてはいきいきサロンや友愛訪問活動が今までどおりに行えないことによる戸惑いの声や感染を防ぎながらどのように活動に取り組んでいけば良いのかという声が寄せられています。

そこで各種機器の貸出等を行い、安全を確保しながら少しずつでも地域のつどいの場や訪問活動が再開できるよう側面からの支援を進めてゆきたいと考えています。

コロナ感染防止のために

1. マスク着用、3密を避ける
2. 消毒は徹底　手指も机も
3. 一度に集まらず分散、少人数で
4. 窓を開け、空気を循環
5. 時間を決めて、食事は控える
6. 弁当にして持ち帰る
7. 体調不安なら休む
8. 参加した人を記録しておく

表紙のことば

子育てサロン「なかよし広場」の遠足で笠岡の恐竜公園に行きました。「なかよし広場」は、未就学児童とその保護者の集いの場です。ボランティアが季節に応じたレクリエーションを用意します。保護者の方には、保護者同士の交流と気分転換の機会にもなります。詳しくは、社協寄島支所（TEL 54−3317）まで。

FUKUSHI 福祉 ASAKUCHI あさくち 第56号

安全のための工夫いろいろ

アクリル板寸法
幅 90cm
奥行き 30cm
高さ 60cm

フェイスシールドは使い回しはせずに、清潔に管理しましょう。

社協の貸出物品
- アクリル板
- サーキュレーター
- 非接触型の体温計

間隔を十分に取って。
窓を開けて、
空気を循環させましょう。

天気がよければ、
野外でも。
地域の交流を一歩ずつ…。

動き出した 地域福祉活動計画

ともに生きる地域社会を

昨今、少子高齢化が進み、人口減少社会が本格化するなど、社会環境は大きく変化しています。このような社会の変化は、２０４０年に向けてさらに加速化することが予想され、社会福祉のあり方についても、さらなる変革が求められています。

そのような中、社協が10年後に目指す地域福祉の姿は「ともに生きる豊かな地域社会」であり、住民一人ひとりが共働し、日々ともに支えあって、暮らしにおける楽しみや生きがいを見出し、孤立せず、安心してその人らしい生活をおくることができる社会になります。その実現のための羅針盤となるのが「地域福祉活動計画」です。

浅口市社会福祉協議会では、平成28年４月に「第１次地域福祉活動計画」を策定し、地域福祉の拡充に取り組んで参りましたが、この計画も５年目を迎え、令和２年度で終了することになり、新たに令和３年度から中長期の地域福祉活動計画を策定することとなりました。この計画の策定にあたっては、平成31年３月に浅口市で策定された「浅口市地域福祉計画」と車の両輪のように一体となって推進していく、「第２次浅口市地域福祉活動計画」の策定を目指しています。

地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画の大きな特徴は、住民主体の計画であることです。住民へのアンケート調査や、団体等へのヒアリング調査、座談会での意見を集約し、活動計画の目標にまとめていきます。

完成した活動計画は浅口市社会福祉協議会や地区社協にフィードバックされ、地域福祉を進めていく指標となります。住民の皆さんの手で「浅口市をよりよくして行こう」が地域福祉活動計画の目的となります。

活動計画の策定の期間

令和３年３月末までを目途に策定委員を中心に策定を進めていく予定です。

鴨方ホール
リニューアルオープン
見学会受付中！
井笠広域会館 鴨方ホール
〒719-0243 岡山県浅口市鴨方町鴨方 808-1
TEL 0865-45-8388

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

みんなの声 地域座談会＆団体ヒアリング

社会福祉協議会では地域福祉活動計画に皆様の意見を反映させるべく各種団体のヒアリングを実施し、地域座談会としては、駅前団地東（鴨方町）・中安倉（寄島町）で開催しました。皆様から頂いたお声の一部を紹介します。

座談会で出たご意見

こんな地域になって欲しい！

- みんながお互いに支えあう地域。
- 協力して何でもできる地区。
- 若い人たちに来てもらえるような地区。
- 人口が増えて欲しい。子どもの声が聞こえる地区。
- 歩いて買い物に行けるようになったらいい。
- 買い物しやすくなれば…移動販売の車が増えて欲しい。
- 歌声喫茶など気軽に集える場所が欲しい。
- 気軽に集まる場所が増えたらいい。
- バスが毎日運行してくれると良い。　など

ヒアリングで出たご意見

浅口市のいいところ！

- 美しい景色やおいしい海産物。自然が豊か。
- 子育てに対する支援や環境が整備されている。子育てしやすい。
- 人情が深い。地域の交流の場が多い。
- 集いの場があり、活動を支援してくれるところ。
- 災害が少ない。
- 近隣へのアクセスが良い。
- 医療機関、スーパー、家電量販店があり生活しやすい。
- 公共施設が充実している。　など

みんなが住みよい街になるにはどんなことがあればいい？

- みんなが気軽にコミュニケーション出来ること。
- どこにでも車いすがある。障がい者、高齢者に優しいバリアフリー。
- 常設のサロン。地域で安心して遊べる場所。
- 常に解放された集会所が必要。昔は近所でよく遊んだ。
- 障がい者のことを理解するため、交流の場づくり。
- 災害の備えを充実させる。
- 地区・近隣との繋がりを強く。若い世代への参加の呼びかけ。
- スーパー、コンビニ等を増やす。
- 住民から意見を聞く手段、小さなことでも説明や対応、相談に乗ってくれるようなシステムが出来れば良い。　など

山下石工所
YAMASHITA"STONE" FACTORY
墓地・墓石
墓守サービス
お墓の修理
お墓の引越
墓じまい
など
より良いお墓の祀り方を御提案いたします。
山下石工所
何でもご相談ください。
☎0865-44-2778（代表）
岡山県浅口市鴨方町六条院中3637　FAX:0865-44-8944
http://ww3.tiki.ne.jp/~syugo/
私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

◀▲ 防災訓練の町内会一斉実施

地区社協訪問 11

駅前団地東 地区社協

高齢化にもコロナにも負けずに楽しい町内会に

駅前団地東地区社協は、平成25年に発足しました。鴨方町の東に位置し、145世帯が住む大きな団地です。浅口市でも最も高齢化率の高い地区となっています。

町内会組織の福祉分野として地区社協を組み入れ、老人会・サロン部会・子ども会、そして民生委員・福祉委員が中心となって活動しています。恒例行事としては、『ふれあいサロン』や『健康体操』、夏休みに行う『ラジオ体操』や『清掃活動』があります。また、年に1度は防災訓練を町内会一斉に実施し、有事にはお互いに助け合うという組織作りにも取り組んでいます。いずれも町内会と連動して、地区ぐるみの活動となっています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で様々な活動の自粛を余儀なくされている部分もありますが、今できることを継続しながら創意工夫して、Withコロナで乗り切ってゆきたいと思います。

声 団地発足から約50年　高齢化の波

町内会長　**井上 邦男**さん

駅前団地が造成されて約50年となります。かつては子育て世代の団地でしたが、今では高齢者団地となっています。行政や社協と連携を密にして、「共助」の精神を推進して、安全安心の団地にしてゆきたいと考えています。

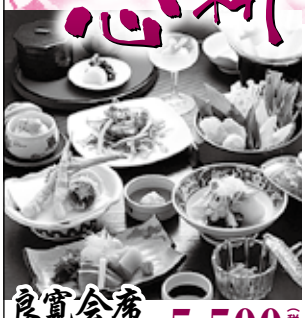
主な年間行事

- 随時　ふれあいサロン
- 健康体操
- ふれあいラジオ体操
- 防災訓練
- 清掃活動
- 高齢者見守り活動

忘新年会プラン

開催期間 2020.11.14(土) ▶ 2021.1.31(日)

一年の労をねぎらい、新たな気持ちを語り合う…
美味しい料理で楽しいひとときをお楽しみください。



良寛会席 ¥5,500(税込)
写真は良寛会席の例

玉島御膳 ¥3,850(税込)
飲み放題(2時間) お一人様 ¥1,650(税込)
瓶ビール / 日本酒 / ウーロン茶 / ジュース / 焼酎

特典
◆カラオケ無料!!(要予約)
◆会場室料無料
◆送迎バス無料 要予約(10名様以上)

良寛会席をご予約の場合
★10名様毎にボトルワイン1本サービス!
★飲み放題料金を¥1,500(税込)に割引!

宴会のあとそのままご宿泊 朝食付
宴会宿泊パック
平日 お一人様 ¥4,000(税込)
※土曜、休前日は¥5,000(税込)
※2020/12/31~2021/1/3は除く

瀬戸内の恵まれた自然が育む安らぎの宿
国民宿舎 良寛荘

ご予約・お問い合せは
TEL.086-522-5291
FAX.086-522-8048
〒713-8123 倉敷市玉島柏島478
http://ryokanso.jp

この他ご予算に応じたプランや、記念撮影・花束等も承っております、お気軽にご相談ください。仕入れ状況等により料理内容を変更させていただく場合がございます。

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

あさくち権利擁護推進センターだより

ほっと・ネット通信

〝人生会議〟、ACP（Advance Care Planning）を知っていますか？

もしもあなたが、病気により「あと半年のいのち」だと言われたら…。「もう死んでしまうのだ、もう終わりだ」といった絶望感や、「どうして何も悪いことをしていないのに、自分が…」と怒り、悲しみ、ときには「あの時、ああしておけばよかった」と人生を振り返り、常に心は揺れ動くのではないでしょうか。人それぞれ生き方も違えば、人生観や置かれた環境も違います。“人生最後の時をどのように過ごしたいのか？”という話題は、大切だとわかっていながらも、衝撃的でデリケートな問題であるため、自分自身から話題にしにくいものです。

最期を迎えるときに「どのような医療やケアを受けたいのか」、ご自身の考えを、ご家族や友人、医療関係者、ケアスタッフと率直に話し合い、共有しておくことを「アドバンス・ケア・プランニング」通称 ACP と言い、愛称を「人生会議」と呼びます。

終活（エンド・オブ・ライフ）や緩和ケアを知っている方は多いと思いますが、ACP はまだまだ、日本での認知度は低いのが現状です。日本人は、ご自分の思いや考えを相手に伝えることが苦手と言われています。ACP の第一歩として、家族や友人などと、ご自分の最期をどうしたいかのか、吐露からでも“人生会議”を始めてみませんか。

○人生会議（ACP）の進め方

ステップ 1 普段から、あなたが大切にしていることや思いについて考えてみましょう

□家族や友人と十分な時間を過ごせること

□人に迷惑を掛けずに生きること　など

ステップ 2 あなたの思いを伝えてくれる人（代理人）を選びましょう

□配偶者、きょうだい、子ども、友人　など

ステップ 3 かかりつけ医に健康状態について質問してみましょう

□今後予測される経過を知りたい

□必要な医療やケアを知りたい　など

ステップ 4 もしものとき、あなたが希望する医療やケアについて話し合いましょう

□自宅で生活したい

□延命治療は望まないが痛みだけは取り除いてほしい

□とにかく長生きをしたい　など

ステップ 5 あなたの考え（心づもり）を書き留めておきましょう

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

みんなの福祉学習 ふくしのあのね

社会福祉協議会では、市内の小中学校、高校に出かけて、社協職員やボランティアが福祉についてのお話しや体験学習を行う「出前福祉講座」を行っています。学生さんだけでなく、多くの人に福祉についてもっと知っていただき、もっと興味をもってもらいたいと思い、紙上福祉学習「ふくしの〝あのね〟」をシリーズでお届けします。

1.「福祉」って

「福祉（ふくし）」という言葉はふだんからよく目にし、耳にする言葉ですが、「福祉」の言葉そのものをひと言で説明することはなかなか難しいです。そこで、「福祉」を辞書で調べると

福祉とは
「しあわせ」「ゆたかさ」「よりよく生きる」「等しくもたらされるべき幸福」

なんとなく分かるような、分からないような・・・。

次に「福」と「祉」の漢字の意味を調べると

「福」「さいわい。しあわせ。神から与えられる助け。」
「祉」神（ネ）がとどまる（止）ことを表した字から、「さいわい。しあわせ。神のめぐみ」

言葉の意味とあまり変わらないですね。ちなみにこの「祉」は、「福祉」の言葉以外で見かけることはほとんどありません。

英語では福祉を、「welfare（ウェルフェア）」と言いますが、「wel＝よく」と「fare＝やっていく」が合わさった言葉で、「よりよく生きる」という意味になります。

福祉は「ふだんの・・・」

ふくしを説明するとき、学校で行う「出前福祉講座」では

『ふだんの くらしの しあわせ』

と説明しています。普段の暮らしの中で、「当たり前なこと」「当たり前にできる」ために、みんなで考え、支えあうことが「福祉」なんです。

（ポイント）
福祉は、特別な人のための特別なものではなく、普段の暮らしの中で「当たり前なこと」を「当たり前にできる」ために、みんなで支え合うこと。

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

2. あれこれ福祉 ～点字ブロック～

点字ブロックは岡山の生まれ

視力に障がいのある人が安全に移動できるために、地面や床面に敷かれた四角形の案内表示が「点字ブロック」です。この点字ブロック、岡山生まれなのをご存知ですか？

岡山県立岡山盲学校（岡山市中区）に近い、国道250号（旧国道2号線）原尾島交差点周辺に世界で初めて設置されました。点字ブロック発祥のとして、その地には記念碑が建てられています。

「1961（昭和36）年、岡山市で自営業を営む三宅精一氏は、ある日、交差点で白い杖を持った目の不自由な人が車道を横断する姿に目を留めた時、横を車が勢いよく走り去ったという危険な場面に遭遇した。（記念碑より一部抜粋）」

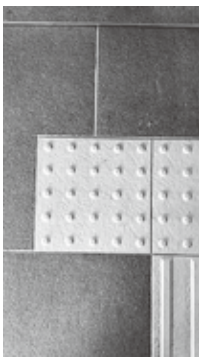
これをきっかけに「視覚障がい者の安全歩行」について考えるようになった三宅さんの考案により、1967（昭和42年）3月18日にその交差点の横断歩道に230枚の点字ブロックが敷かれました。

3月18日は、「点字ブロックの日」として記念日に認定されています。

点字ブロックの形のヒミツ

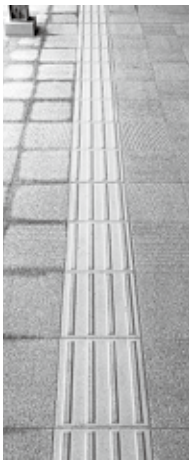
ブロックには2つの形があります。1つは丸の形で、もう1つは線の形をしたものです。

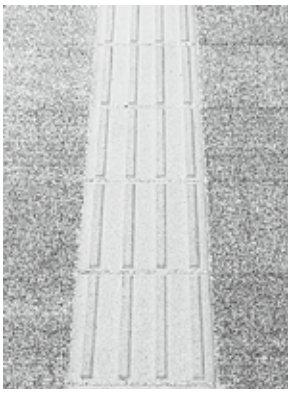
❶警告ブロック（点状ブロック）



丸の“でこぼこ”が、危険な場所や目的地を表します。階段や横断歩道前、エレベーターの前などに設置されています。

❷誘導ブロック（線状ブロック）





線状の“でこぼこ”が、移動の方向を案内します。

❸内方線（ないほうせん）

駅のホームの外側（線路側）と内側とを区別するブロック。点状ブロックの中に、1本線のブロックをつけて、ホームの向きを分かりやすくしています。

これらの〝でこぼこ〟を、足のウラや白杖（はくじょう：視覚に障がいがある方が使用する白い杖）で確認しながら進みます。

点字ブロックの色のヒミツ

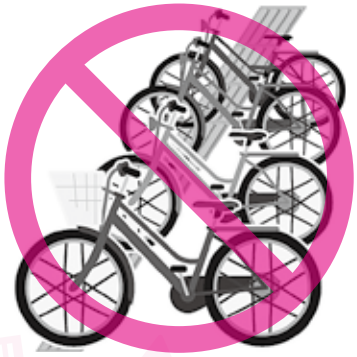
点字ブロックの色はほとんどが黄色です。それは、点字ブロックとそれ以外の場所を色と明るさで差をつけて、視力が低下している人にも分かるようにするためです。

点字ブロックは、視力が全くない人のためだけでなく、視力が低下している人にとっても大切な案内板なんです。

点字ブロックを安心して使えるために

たとえば、点字ブロックの上に自転車が置いてあったらどうでしょう？

点字ブロックを頼りに歩行している人にとって、ブロックの上やその周囲に障害物があると安心して歩くことができず、ぶつかってケガをする危険性もあります。何気なく停めた自転車が、大きな事故を招くことにつながります。



安全のために点字ブロックの上に自転車や車、看板などを置かないようにしましょう。

10月1日から、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。皆様のご理解とあたたかいご支援ご協力をお願いいたします。

21世紀を「福祉の世紀」へ。赤い羽根募金は「たすけあいの心」を育てています。

赤い羽根の歴史

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の昭和22年に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。

当初は戦後復興の一助として、戦争の打撃をうけた福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。

その後、社会福祉事業法という法律をもとに「民間の社会福祉の推進」に向けて、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。

そして現在、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。

赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

赤い羽根 配分事業 「居場所づくり」助成

この助成は、地域の集会所等の備品等を整備することにより、地域の幅広い世代の居場所としての機能を充実させ、利用を促進させる一助とすることを目的とします。

令和2年度配分地区

- ◆谷井地区（鴨方町）
- ◆宮ノ前地区（鴨方町）
- ◆国頭地区（寄島町）
- ◆福永宮東地区（金光町）
- ◆立石地区（鴨方町）
- ◆中山地区（鴨方町）
- ◆修徳地区（鴨方町）
- ◆青佐地区（寄島町）
- ◆早崎地区（寄島町）
- ◆駅前団地西地区（鴨方町）

福永宮東地区（金光町） 湯沸器

現在使用している湯沸器は老朽化しており、火を使うものだけに新調できて安心しています。「ふれあいサロン」や「誰でも食堂」など湯沸器を使う機会は多いので、大変よろこんでいます。

国頭地区（寄島町） ホワイトボード

現在使っている黒板は40年以上使用し、器具やキャスターなども不具合があります。ホワイトボードの設置により、チョークの粉も飛ばず快適な公会堂となりました。

修徳地区（鴨方町） 椅子

従来、地域の会合は床に座るスタイルであったが、高齢化とともに足の悪い方が増えています。イスが整備されたので、ふれあいサロンなど地域の活動が活発になりうれしいです。

赤い羽根のしくみ

募金の約70％は、自分の町を良くするために使われています。

誰かのためにと思って募金をしたら、自分たちの町のための募金でもありました。町のみんなで集めた募金は、自分の町を良くする活動に使われています。

募金は、民間の地域福祉を支える活動に使われています

共同募金の助成は、高齢者サロンの運営や点訳ボランティアなど草の根のボランティア活動の費用から、障がい者作業所の車の整備・社会福祉施設の改修まで、さまざまな民間社会福祉活動を支援しています。

災害にも共同募金は使われています

大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

受賞おめでとうございます

◆令和2年度岡山県総合社会福祉大会において社会福祉事業に功績のあった方々が表彰を受けられました。（敬称略）

岡山県共同募金会会長表彰
・浅口市立金光中学校（金光町）

岡山県母子寡婦福祉連合会理事長表彰
・大島三枝子（鴨方町）
・吉川恵子（鴨方町）

岡山県民生委員児童委員協議会会長表彰
・久戸瀬良子（金光町）
・三宅加津子（鴨方町）
・小川眞廣（寄島町）

岡山県老人クラブ連合会会長表彰
・西牧隆（金光町）
・吉田徳雄（金光町）
・鈴木孝（鴨方町）
・道広佳子（寄島町）
・高橋俊伍（寄島町）
・大内ちとせ会（鴨方町）
・西原長寿会（鴨方町）

今、なぜ地区社協なのか

☞「きっと誰かがなんとかしてくれるだろう…」

少子高齢化や核家族化がすすみ、近隣での連帯感が希薄になってきています。たとえば「住み慣れた自宅で住み続けたい」という願望を叶えることも難しくなっています。第一義には、**《自助》**自身や親族で解決しようとします。次に**《公助》**役所の行う福祉サービスを利用します。しかし制度の該当にならない場合もあります。そして**《共助》**地区住民の出番です。近隣住民のちょっとした支援で生活上の困りごとは解決されることも少なくありません。

☞「たくさんの顔ぶれが参画する組織」

地区にはたくさんの組織や団体があります。町内会（区・コミュニティ）、老人クラブ、消防団、ＰＴＡ…。それぞれより良い地区を目指して活動しています。しかし、各々がバラバラであっては、十分な効果をあげることはできません。地区内のたくさんの組織や団体、または個人が横の連携を図りながら、地区の福祉向上と問題解決に取り組むための組織が地区社協です。

☞「自分たちの福祉は自分たちで創る」

近隣での支援活動は、すでに盛んに行われています。しかしこうした支援活動が地区内の同様な問題を抱える人に漏れなく支援されているでしょうか。

「近隣の善意」から「地区ぐるみのしくみ」へと引き上げることが必要です。もともと「生きがい」「安心感」といった問題は公的サービスを利用するより、地域住民の共助により解決するほうがふさわしいケースもあるようです。

このように地区の福祉は自分たちの手で創るという発想が大切なのです。

クイズ 探して並べて

今号の紙面に□で文字をかこんだ箇所が6か所あります。この6文字をならべかえて言葉をつくって下さい。

◆ヒント **花の甘い香りは秋を感じさせます。**

◆締め切り **12月25日㈮** 消印有効

◆前回のこたえ **アイスクリーム** でした。

応募方法

官製ハガキに住所、氏名、答えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、
〒719-0243
鴨方町鴨方73番地
浅口市社会福祉協議会まで。
正解者の中から抽選で20名に記念品贈呈。

福あさボイス

クイズの答えとともに「福祉あさくち」の感想をお寄せください

新型コロナウイルスが収まりません。「新しい生活様式」の記事がでていましたが、実践例を参考にして、健康管理に努めたいと思います。（鴨方町　藤澤さん）

最近よく耳にするＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）について、分かりやすく説明してありました。一人ひとりの心がけで少しでも住みよい世界へ広がればいいと思いました。（鴨方町　垣内さん）

人と人をつなぐ 地域と人をつなぐ

浅口人〈あさくちびと〉 vol.32

寿光園デイサービス管理者
無邊山浄光寺副住職
岡山県社会福祉士会会長
中村 真教さん
（鴨方町鴨方）

お寺発！地域の子供たち、大人たちへ

お寺をもっと身近な場所だと思ってほしくて、地域の子供たちを対象に「夏休み子供体験道場」という活動を8年前から続けています。基本的な靴揃えに始まり、今の住環境では触れることの少なくなった畳の歩き方や襖の開け閉めなどの礼儀作法や、茶道を通じて日本文化に触れるといった体験を通じた学びの活動を行っています。

金光町のちぎり絵グループ「彩友会」の皆さんにお手伝いを頂いて、鴨方東幼稚園の子供たちをお寺に招いて、アート体験をしてもらう活動にも取り組んでいます。主に和紙を使ったちぎり絵作品を製作していますが、体験を始めた頃に子供たちにちぎった和紙をたくさん貼ってもらって白い象を作りました。50年ぶりに復活させた「花まつり」では、毎年その像さんが登場しています。

今はコロナウィルスの影響で活動ができていませんが、地域のご婦人の発案で始まった「終活」の会や、ヨガの会、茶道など日本文化を体験する会、お寺で婚活（寺コン）などの活動を通じて、お寺がいろいろな方たちとのつながりを作る場所になっています。

親と子どもと地域をつなぐ

鴨方東小学校のPTAの役員をしていた時に、岡山県が作成した「親育ち応援学習プログラム」を知りました。これは子育てをしている中での身近な問題について、親同士が相談、交流しながら学ぶ参加型の学習プログラムです。早速東小学校で取り入れて、今では市内の幼稚園、小学校に活動が広がっています。他にもPTA関係者等有志で結成した「鴨東セカンドスクール」で取り組む「通学合宿」をはじめ、地元の民生委員さんやボランティアの皆さん方と、地域食堂「みんなのおウチ」や、学習支援「みんなの教室」の活動をお手伝いしていますが、すべてにおいて共通するのは「地域の子どもは地域で育てる」という考えが根底にあります。社会福祉士としても、地域で何らかの貢献をしたいという思いもありました。これらの活動のきっかけとなるのはたった一人の子どもの困りごとだったりするのですが、その困りごとを知っていても何もできない地域にはしたくない。子供たちに何かあった時、親や学校以外にも相談ができる居場所、また子どもだけでなく、大人にもそういう場所が必要ではないでしょうか。地域の一員として、市内全体にこの活動が広がっていくように、微力ながらお手伝いできればと考えています。

西嶋　勇さん（93歳）
寄島町（大浦）

空襲で転機

寄島の大浦で生まれ育ちました。金光中学５年生の時に学徒動員で玉島の飛行場で働いていましたが、実家がひよこの孵卵場をしていたので、卒業したら獣医になろうと思い堺の獣医学校を受験することにしました。昭和20年２月、大阪の親戚の家に泊まって、堺の獣医学校を受験するその日、電車に乗っていると空襲にあいました。避難することになり、結局受験は出来ませんでした。空襲にあったことで獣医の学校を諦めたのは、人生の一つの転機であったと思います。

仕事で培った力

結局、終戦８月までは玉島の飛行場で働き、寄島に引き揚げました。終戦当時の事ですから仕事もなく、芋を作ったり、家の百姓の手伝いをしていました。しかし、いつまでもそれではいけないと思って実家のひよこの孵卵場を手伝うことにしました。

一念発起し講習を受けて苦労して自動車免許を取得し、軽四自動車を買ってひよこの外交（営業）を始めました。岡山はもちろん、兵庫、島根、鳥取、広島までカタログを持ってひよこを農家に売り歩きました。いろんな人と接して苦労していくうちに柔軟な対応が出来るようになり、今では自分の取り柄と言えるものになりました。

また、女房が縫製を得意としていたので、それを糧に縫製業を始めました。ジーンズを縫う仕事です。最盛期にはここ大浦と東安倉と大島と３ヶ所に工場を構え従業員も50名を数えました。ビルマ（ミャンマー）にも工場を出そうとしたこともあったのですが、息子たちが仕事を継がないとのことだったので 70 歳になった時に仕事は辞めました。

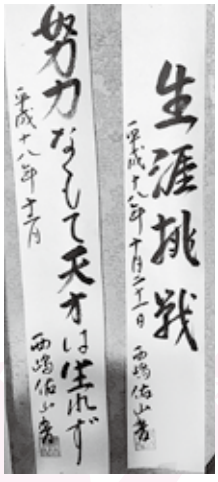
地域活動で貢献

仕事を辞めた後は、地域での大浦地区町会長・コミュニティ分館長を10年間務めました。民生委員をしたこともあります。大浦神社の総代は長いこと務めました。地域のためにと長らくお世話をさせてもらいました。大浦の千歳楽がボロボロになって直す時には中心になって活動し、皆が満足できる千歳楽が出来たと思います。また早く[く]からパソコンを嗜み、いろんな人にパソコンを教えていきました。私の歳でパソコンを出来る人はなかなかいないでしょう。私の自慢です。

生涯挑戦で生涯現役！

親から頂いた元気な体で助かっています。「目がみえる」「耳が聞こえる」「歯が丈夫」と３拍子揃って調子がいいです。全部自分の歯で何でもよく噛めるので幸せです。両親のおかげだと思っています。

また、「面倒くさい」とか「たいぎぃ」とか言わずに出来るとことは何でもやることを大切にしています。「**生涯挑戦**」「**生涯現役**」で何事にも前向きに生きていきたいと思っています。



“福祉あさくちを見た”と言うだけで会員価格に致します！
デジカメプリント
激安王
デジカメプリント
29円
フィルム現像できます
携帯・ネットで注文OK！
● 証明写真500円 ●
フォトショップサンタ
検索
岡山県経営革新法承認企業
プリントショップ サンタ
天満屋ハピータウン鴨方店2階
（エレベーター横）
浅口市鴨方町六条院中 2128-1
営業時間 9:00～20:00
TEL.0865-44-9152
年中無休
私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

篤志御礼

（令和2年9月30日まで）
ご寄付ありがとうございました。
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

金光町
○河手　義忠さん（大谷）より
亡母　君子さんの香典返し
○唐井　一磨さん（地頭下）より
亡母　寿満枝さんの香典返し

鴨方町
○今井　伸一さん（鴨方）より
亡母　洋子さんの香典返し
○向原　恵子さん（小坂東）より
亡母　清子さんの香典返し
○山下　惠之さん（六条院中）より
亡妻　和子さんの香典返し
○貝畑　昌宏さん（小坂西）より
亡母　キヌ子さんの香典返し

寄島町
○藤井　房子さん（宮通）より
亡夫　脩さんの偲び草
○岡田　進二さん（東安倉）より
亡父　英輔さんの香典返し
○柏原　秀樹さん（西安倉）より
亡妻　悦子さんの満中陰志

Let's 手話 ⑦

中西 しのぶさん
（浅口手話サークル「青い鳥」）

栗

右手こぶしであごをこするように2回おろす。

ぶどう

左手の平にあてた右手の5指をすぼめながら回転して下におろす。

柿

口に向けて折り曲げた右手5指を下へおろす。

車いす30台寄贈
―金光ライオンズから―

金光ライオンズクラブから認証60周年を記念して、車いす30台の寄贈をいただきました。
在宅高齢者への貸出用として有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

税額控除できます

社会福祉協議会に対する寄附については、年間合計額が2,000円を超えた額が所得税額控除及び個人住民税の所得割控除を受けることができます。

社協だより 福祉あさくち
2020.11.1
第56号
http://www.fukushiasakuchi.net

歳末見舞金支給のお知らせ

―「歳末たすけあい募金」配分―

対象者
❶身体障がい者手帳 1・2級 所持者
❷療育手帳　A・B所持者
❸精神障がい者保健福祉手帳　1・2級 所持者
❹義務教育以下のお子さんを一人親で養育している方

❶～❹の方で次の条件にすべて該当する方

◎市民税に所得割がかかっていない世帯
◎市内に住所を有する方
◎在宅で生活されている方

締切り 11月30日(月) 厳守

申請手続き

- 所定の申請用紙等が社協本所・支所にあります。
- 申請時には、印鑑及び所持する手帳、振込を希望する通帳をご持参ください。

令和2年度 社協会費へのご協力をお願いします。

社協会費へのご協力は、福祉のまちづくり参加への一つです。「住民皆様が心豊かに暮らせる、ふれあい・助け合い・支えあいのあるまちづくり」のため、社協会費は地域福祉事業の大切な財源となっております。本年度も何卒多くのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

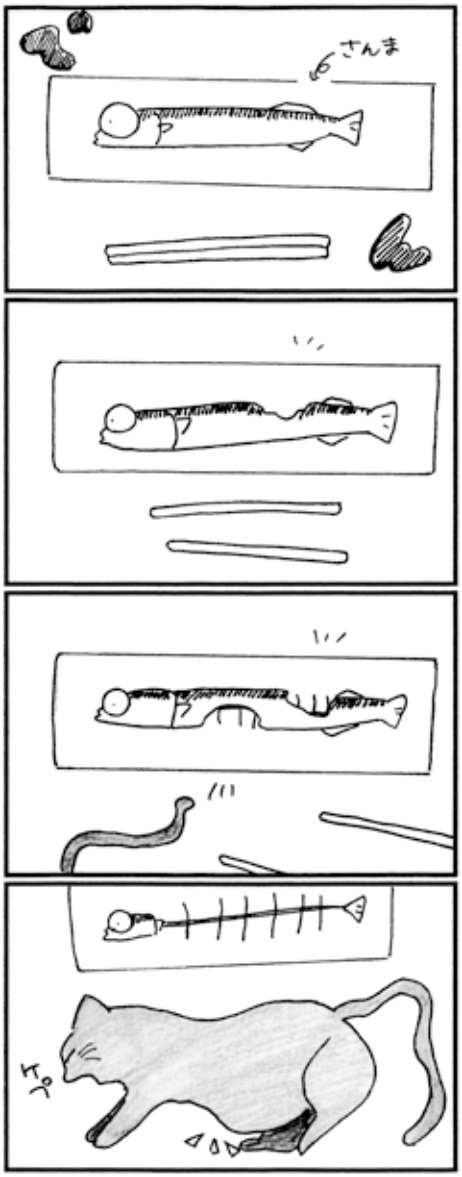
会費は年会費として
個人会費 1口1,000円　法人会費 1口3,000円~

車いす体験学習の様子
（金光竹小学校）

市内に2800本設置
「いのちのバトン」

福あさ「さんま」4コマ劇場

提供：鴨方高校マンガ同好会



社協だより
社会福祉法人
浅口市社会福祉協議会

□本　　所　浅口市鴨方町鴨方73
TEL 0865-44-7744

□金光支所　浅口市金光町占見新田751
TEL 0865-42-7308

□寄島支所　浅口市寄島町16010
TEL 0865-54-3317

□カニ丸の家　浅口市寄島町16089-17
TEL 0865-54-3113

発行　社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会
広告代行　昭和印刷株式会社